



国労仙台

No. 2538
2008年12月25日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

12.11.27	支社経営協議会
11.28	貨物2ヶ月に抗議する宮城県集会
11.29	若松地区集会
12.1	貨物2ヶ月に抗議する福島県集会・米坂線ワンマ
12.7/8	ン運転等提案
12.9	東北協議会総会・活動家交流集会(盛岡)
12.10	自動車支部集会
	団交(冬期体制・申4号)
	仙台地区集会
12.12.11	団交(冬期体制・申7号)
12.12.11	新庄地区集会
12.12.11	山形地区集会
12.12.15	地方執行委員会
09.3	小牛田地区集会
	3ダイヤ改正提案

兜森秀昭さんが加入！

東北自動車支部で拡大

JRバス東北秋田支店の社員、兜森秀昭さん(43才)が、12月1日付で国労に新規加入をしたとの朗報が、東北自動車支部から届けられた。

年末の、しかも自動車における東労組からの新規加

大宮では27才の仲間が

12月1日付の兜森さんの加入に続いて、12月15日には東京地本・大宮地区本部より、「貨物・大宮車両所において、貨物労組から27才の仲間が国労加入を決定した」という組織拡大の報告が届いた。

この拡大により、本部大会からは15名、エリア大会以降は11名の拡大となった。流れは確実に国労に向きつつあり、職場の活動に自信を持ち、引き続き組織拡大に全力をあげよう。

激励先

国労仙台地方本部 東北自動車支部気付け

大倉 満執行委員長
兜森 秀昭さん

送付先

〒984-0051 仙台市若林区新寺一丁目4-31
FAX NTT 022-299-7435
FAX J R 031-3991

【組織部】

「施策」という合理化の検証を

9月17日東北本線黒磯駅構内で発生したパートナー会社(以下P社)の協力社員の感電死亡事故以降、労災死傷事故や設備故障事故が連続して発生している。特に仙台支管内では05年12月8日に奥羽本線の赤岩・板谷間において同じ元受会社の協力会社社員が感電死亡しており、僅か2年9ヶ月の間に同じ会社が死亡事故を発生させた事態の重大さに鑑み、地本は仙台支社に対し緊急の申し入れを行った。安全問題プロジェクト会議から、この申し入れに対する議論の一部を紹介する。

安全は「思想」である

座長 東日本本部は既に10月24日、本社に対し安全問題に関する緊急申し入れを行っているが、国交省の指導が厳しく行われており、団交に手を付けられる状態にないと報告があった。

運輸 事故が発生すると技術論や手法に目がゆきがち。元受け、孫受けまでしっかりと安全教育を行っているのか。やり方、方法だけでなく安全教育という思想が欠落しているから事故が多発しているのではないか。

会社はコスト論で逃げるがそれを許しては同じ事の繰り返し。国交省のJRに対する厳しい指導も「民営化のツケ」の批判をかわすためのもの。

電気 P社といわれる元受会社は工事を請けるとその

受注額を半分もピンハネし、協力会社に投げる。協力会社は必死で工夫を凝らし出すが、儲けが出ない安全教育に時間と金を費やす事が出来ない。

座長 会社はルールが守れなかったから、ルールを守るためのルールを作るといふ。結果ルールだけが出来ていく。

電気 ルール作りも限界だというのがJR会社の本音。一方で事故対策会議を開催してもP社から本音を聞き出せない。JRとの打ち合わせの変更を無断で行ったというが、予定より早く終われば次に手を付けたいし、やってみなければ分からない。そうした状態に追い込んでおきながら、綺麗な事ばかり言っている。JR

の予算消化という都合で無理な発注をしておきながら事故を起こすなは酷。

工務 発注元のJR、支社も含めてそうしたことを判っていて発注しているのか？業者は万歳しているのに更に請負わされている。

運輸 話を聞いているとお粗末。本来計画的に行うべき事をその時々思いっぴきで出したり引っ込めたり。孫受けも大変。

電気 そうしたしわ寄せが安全問題に繋がる。忙しくなると孫受けの取り合いに慣れない駅での作業で作業員は勿論、見張りも不完全。TC列車警報装置が「上り接近」のガイダンスをしたが、下りホームに上り列車が進来し、あわてて動いた作業員に汽笛吹鳴。工事発注の遅れの原因の一つに設計テーブルの若返りもある。予算が急に増えたわけではなく、JR入社一二年の人が設計をするために時間がかかっている。その本人だけでなく指導するベテランも当然遅れていく。

運輸 工作や運輸はそうしたことがわからない。どうしてこんなミスをするのか

運転 技術の継承で言えば、つい最近重掌になった若手を新人の教育指導にあたらせている。結果、ベテランに指導された人との差は歴然。会社は「ついこの間覚えただけだから教えやすいはず」と。根本的に何かが欠落していないか。

工務 そうした発想をする、会社の考えがおかしい。

座長 過日、降雪により福島保健技所長が仙建に対し「ロモを出せ」と発注。しかし当の仙建では訓練もしていない。強行しようとするJRに対し出向者（国労）が訓練もなく不安な中で作業は無理と言いい、また団交で設備部副課長が「訓練をしないで実践はさせない」とした言葉を伝えてようやく納まった。ルールを守れと言ふJRが平気でそれを破る。支社に対しルールを

郡工支部 12月6日、第78回郡山工場支部定期大会が、郡山職業訓練センターにおいて開催された。

冒頭挨拶に立った橋本守弘委員長からは①3月21日に亡くなった佐久間信広さんの遺族に対するカンパの取組みが、地本全体の協力で百万円を超えた御礼の報告②一両流しで時間に追われミスが起きている。団交で教育と要員を要求しているが改善されておらず、今後も求めていく、等の挨拶が述べられた。

○主な質疑など

◆闘争団カンパは増えているのか◆作業密度がアップした◆車両故障は職人意識により無理な工程をこなしてしまふ自分たちにも問題が◆1047名問題の安易な解決には反対◆除去しきれていないアスベストに注意。遭遇した場合の対処の

退職

11月30日

相原宗一さん
岩沼駅連（エルダー）

小田 親紀さん
郡山信通（エルダー）

高橋 長逸さん
新庄連合（エルダー）

大島 信一さん
若松地区

坂本 喜孝さん
若松地区（エルダー）

12月6日、第78回郡山工場支部定期大会が、郡山職業訓練センターにおいて開催された。

準備が必要◆55才・57才の減額問題で団交を。カットの廃止か時短を◆要員減だが業務増。計画残業が多く

12月20日、第23回山形県支部定期大会が、山形市内大手門パルズにおいて開催された。

ひでお氏の必勝に向けて、
等の挨拶を述べた。

○主な質疑など

◆機関会議や情報発行が不

執行委員長	橋本 守弘
執行副委員長	大川原 邦幸
書記長	橋本 光一
執行委員	千葉 秀治
	本田 要二
	阿部 政雄
	藤崎 健一
会計監査	熊田 弘征

を築いてきたJRの経営姿勢③1047名問題の早期解決に向けた取組みについて④安全・安定輸送の確立について⑤組織の強化・拡大について⑥選挙闘争Ⅱ山形知事選挙の吉村美栄子氏と衆議院・山形三区の吉泉

を提案する◆支部に4分会有るが、見直しの時期に卒しているのでは。一番動ける体制作りを考えてもらいたい◆風規制のため乗務員を呼び出すも応答しない。安全のため運転中是对応しないというが、仙台管轄と羽

12月7～8日、岩手県南部富士見ハイツにおいて、「国労東北活動家交流集会2008」が開催され、全体で39名（仙台からは12名）が参加した。

集会は講義と情勢報告、全体討論と進められ、2日間に亘り学習と交流が図られた。

立松潔氏（山形大学教授）の講義「日本経済の動向」では、サブプライム問題に端を発した世界金融危機の状況とそれを引き起こす元になった新自由主義の政策と格付け社会の弊害が話された。低所得者に融資し家売り、途中で金利を高くし、支払いが滞ったら家を取る。格付け会社は利益さえあればAAAを付けそこに全世界から金が集まり更に融資し続け焦げ付きが大きくなった。

利益が上がれば何でもよいという新自由主義の政策そのものが作り出したものであることが指摘された。あまりつぎ込んでいない日本には影響が少ないと思われたもの

の、賃金抑制や非正規社員の拡大により国内では物が売れないために外需依存の体制となっていることからアメリカやヨーロッパで金融危機になり外需が停滞したことが日本にも大きな影響をもたらしている。新自由主義路線からの決別が必要であると述べられた。

福田護氏（国労弁護団）からは「国労の闘いの到達点と今後の課題」と題し講義が行われ、一括和解以降の検証と今後の私たちの運動について弁護士の立場から話がされた。特にこれだけの攻撃がありながら和解以降45人の復帰・加入が図られており、これまでになかったことである。国労の闘いはそういう意味でも今後の労働運動の試金石になると確信していると強調された。

交流集会とあわせて行われた東北協議会総会では、国労東北春闘総決起集会や活動家交流集会を引き続き継続していく事等が確認された。

執行委員長	原田好太郎
執行副委員長	園辺 誠幸
書記長	伊藤 雅
執行委員	木村 勝則
	加藤 幹男
	田村 孝二
	鎌田 仁
会計監査	東海林 茂
	難波 新一

おれ、死と無人馬 問題多
し◆兼務発令で国労2名が
米沢駅へ。通勤等苦労はあ
るが、職場での運動がしや
すくなると思う。他労組も
含めた要求作りを◆ほぼ毎
日ビックロモ訓練している
が、雪がなくなるともギリギリ
のダイヤ設定であり、洗いの
直しが必要◆奥羽線での臨
時列車運行連絡遅れ。書面
を持って話合い要請。全体
会議の開催となった。詰め
が甘かったが、会社は話し
に応じる姿勢はある。

越線での対応の違いもあり
 釈然としない◆ビックロモ
 関係で信号機を扱っての一
 括線閉問題。会社側と話し
 をしている◆風規制。区間
 変更を説明なく書面のみで
 実施せよとの話し。追及し
 なければならぬ◆米沢一建。
 現体制で四方向にロモを出
 されたら回らない。JRは
 雪マークが出ると降雪がな
 くとも発注する方針。昨冬
 は月22回出て、特定4週の
 休日も入らない状態◆昨冬
 はJRで線閉を出したが、
 今季は一建でとプロパーに
 無理やり線閉訓練をさせて
 いる◆新庄では訓練なしで
 実車、線見もない。その後
 に訓練、後先が逆◆米坂線
 ワンマン提案。百キロ以上